交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。
① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
② 今後，交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために，ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、写真データと共にメール送信で提出してください。

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	カーディフ 大学
留学先での所属学部・研究科:	Cardiff Business School (CARBS)
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2019年9月～2020年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3
帰国日・オンライン授業終了日:	帰国日: 3月 26日　　オンライン授業終了日: 6月 8日
本報告書記入日:	2020/6/30

1. 留学先大学について		
1-1	学年開始月日:	9 月 23 日
	学年終了月日:	6 月 12 日
	学期:	① 9 月 30 日～ 1 月 26 日
		② 1 月 27 日～ 6 月 12 日
		③ 月 日～ 月 日
		④ 月 日～ 月 日
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	ウェールズでは唯一ラッセルグループに所属する大学で、特にジャーナリズムや建築学などは英国内でもトップクラスの評価を得ているようです。実際にそれらに関する分野に大学側が注力している様子
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	非ネイティブ向けに大学全体、ビジネススクールの両方がアカデミックライティングなどの補助コースを提供しています。
	勉学面でのサポート:	各モジュールには少人数で行われるチュートリアルというものがあります。内容やスタイルはモジュールによって異なりますが、インタラクティブなものが多いです。
	精神面でのサポート:	カーディフだけなのかわかりませんが、学生のwell-being にはかなり気をつかっているようでした。また、student unionも組織としてかなり大きなもので、私は利用したことはありませんが、そちらでのサポートもかなり充実しているようでした。
	住居・生活面でのサポート:	
	課外活動のサポート:	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか？	はい

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	大学側が多くのアコモデーションを所有しており、留学する際はこれらに申し込むと非常に楽に住居は確保できます。第１０希望まで提出することができます。しかしながら、アコモデーションごとに設備面や立地がかなり違うのでよく吟味することをおすすめします。また寮に住めるのは基本的に現地学生の1年生か交換留学生のみで、前者がほとんどを占めます。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	大学のWi-Fiが利用可能で基本的には快適に繋がるが、部屋の位置によっては電波が弱い場合もある。料金は無料。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	大学内全域で上記のWi-Fiが接続できるが、不安定な場所も存在する。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	通わなかった。NHSは基本的に医療費がかからないが、そのクオリティはあまり期待できないらしい。しっかりと手洗いうがいをしていれば問題ないと思う。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	現地で口座を開設。オリエンテーションウィークにstudent unionにて主要銀行の口座は簡単に開設できる。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	80,000円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	14万 円
	住居費:	(月額) 80,000 円 ×(留学月数) 6 ヵ月 ＝ 480,0000 円
	食費:	(月額) 20,000 円 ×(留学月数) 6 ヵ月 ＝ 120,000 円
	保険料:	67,000 円
	その他:	400,000 円
	合計(留学期間全体の費用):	120万 円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	文化の違いはたくさんありますが、全体的には、イギリスは個人それぞれが尊重されている文化のように感じました。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	大学外ではあまりコミュニティーは無かったです。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	なし。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	カーディフは非常に治安が良い街です。(油断は禁物ですが) また、中心地もコンパクトでありながら、店やレストランは充実していて、全く不自由なく生活できると思います。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ボストンとロンドン(オンライン)のイベントに参加した。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	インターネットでカーディフに留学した人のブログなど
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	特になし。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	海外に自らの身を置いてみないとわからない、日本の個人的に思う良い点や悪い点に気づくことができたということは非常に有益だったと思います。また、現地学生のコミュニティーに入ることはかなり日本の学生生活とは異なるものであり、苦労もありながら、良い経験になりました。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(IELTS) 6.5 点 → 帰国後:( ) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	大きなトラブルは無かった。コロナで切上げになったくらい。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	概ね適切であったと思う。コロナで早期帰国となった際も連絡が早くて助かった。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。せっかくある交換留学制度ですから、海外留学に興味がある人は利用しない手はないと思います。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容, レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ, 料金等)に満足しましたか	5
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い, 満足しましたか	4
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
	・留学全体の総合的な評価	4

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)
新型コロナウイルス の影響で早めの帰国となってしまいましたが、留学に行ってよかったと感じています。語学面を中心にを伸ばしたいのであれば、わざわざ交換留学制度を利用する意味は薄いと思いますが、現地の大学という環境に飛び込めるという経験は非常に価値のあることだと思います。また、そのような環境に身を置くことで、日本で生活していると恐らく気づくことのなかったこと、例えば自分が日本人であることや日本の社会や様々なシステムはかなり独特のものであること、を肌で感じることができました。よく留学経験者の方が留学を通じて、その国の文化を学んだという人は多いですが、個人的には日本の外に身を置くことで、今まで当たり前すぎて気にすることのなかった、日本についての理解を深めることができたと感じています。(もちろんイギリスの文化にも触れることはできました。) 　また、カーディフ大学に限定して話をすると、恐らく他の提携先と一番違うと感じる点は、交換留学生と感じる場面がほとんどないことです。基本的に授業を受けていても、誰が交換留学生なのか正規の学生なのかということはわかりませんし、その他の様々な大学での活動も交換留学生だからといって制限されることは一度もありませんでした。そのくらい交換留学生は正規の学生と同じ扱いを受けることができます。したがって、留学した当初は、新しい大学に入学した気分でした。また、カーディフビジネススクールは半分くらいの学生が中国系の学生で、他にも様々な国から学生が集まっており、比較的インターナショナルな環境だと思います。ファイナンスやアカウンティングが有名らしく、これらを専攻している学生にはおすすめだと思います。 　最後に、留学を考えている方は是非交換留学制度を使ってみることをおすすめします。留学前からプログラムが準備されていて、他の留学に行く学生と共に頑張ることができますし、給付型の奨学金を利用すれば費用もかなり抑えることができます。神戸大学に在籍しながら海外の大学で学ぶことができる、貴重な経験になると思うので、興味がある人は是非チャレンジしてみてください。

9. 留学経験の共有について **あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！**		
9-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。） ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
9-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-5	国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験の発表等） ※可能な場合、後日連絡することがあります。	はい
9-6	もしあなたと同じ大学（国）に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	r5hb.jus@gmail.com

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。